

#### 4.2.1 建築物の新築等

水：「水」の景観形成推進地区  
 道：「道」の景観形成推進地区  
 駅：「駅」の景観形成推進地区  
 農：「農」の景観形成推進地区  
 深：深大寺通り周辺景観形成重点地区  
 国：国分寺崖線景観形成重点地区

景観形成基準		対象地区						
		一般地域	推進地区				重点地区	
			水	道	駅	農	深	国
配置	壁面の位置の連続性や適切な隣棟間隔の確保など、周辺の街並みとの調和に配慮した配置とする。							
	敷地内に歴史的な資源や樹木等の残すべき自然などがある場合には、これらを生かした配置とする。							
	建築物に附帯する屋外の階段や設備等は、道路等の公共空間から見えにくい位置に配置するように努める。							
	ゴミ置場などは、駅前広場から見えにくい位置に配置するように努める。やむを得ず駅前広場から見える位置にある場合は、周囲から目立たない形態・意匠となるよう配慮する。							
	住宅に附属する車庫、物置や建築設備等は、通りから見えにくい位置に配置するように努める。やむを得ず通りに面する場合は、植栽や目隠しなどによって、目立たせないようにする。							
	道路等の公共空間側にオープンスペースを設ける。							
	道路等の公共空間と連続したオープンスペースを確保するなど、歩行者空間の快適性に配慮した配置とする。							
	駅前広場に面する場合は、歩行者が快適に利用できるよう、駅前広場側にオープンスペースを設置するなど、公共空間と一体となった配置となるよう配慮する。							
	河川側に建築物の顔を向けるなど河川に配慮した配置とする。							
	商業施設を低層階に設ける場合は、前面にオープンテラス等を設けられる配置となるよう配慮する。							
	国分寺崖線の緑の景観が連続するような配置とする。							
	深大寺通り、寺前通り、参道の沿道にはオープンスペースを配置するなど、ゆとりの演出を図るとともに、隣接する建築物の壁面の位置などに配慮する。							
	高さ規模	周辺からの見え方に配慮し、周囲の建築物との調和を図る。						
河川堤防、橋や水上等からの見え方に配慮する。								
周囲の建築物の規模やそれらが形成しているスカイラインとの調和を図る。								
駅、駅前広場等からの見え方に配慮し、周辺建築物とのスカイラインの調和を図る。								
農地の広がりのある景観や、周囲の樹木等との調和に配慮した高さとする。								
周辺の主要な眺望点（道路・河川・公園など）からの見え方に配慮し、国分寺崖線の景観との一体性や調和を図る。								
高さは、崖線の緑や周辺建築物群のスカイラインとの調和を図り、著しく突出した高さの建築物は避ける。特に崖線の樹木に隣接する敷地では崖線の低地部から見たときに、崖線の台地部の樹木の最高高さを超えないよう工夫する。								
深大寺通り、寺前通り、参道からの見え方に配慮し、周辺樹林や街並みとの調和を図る。								

水：「水」の景観形成推進地区  
 道：「道」の景観形成推進地区  
 駅：「駅」の景観形成推進地区  
 農：「農」の景観形成推進地区  
 深：深大寺通り周辺景観形成重点地区  
 国：国分寺崖線景観形成重点地区

景観形成基準		対象地区						
		一般地域	推進地区				重点地区	
			水	道	駅	農	深	国
形態 意匠 色彩	形態・意匠は建築物全体のバランスだけでなく、周辺の建築物等との調和を図る。							
	屋根や屋上に設備等を設ける場合は、建築物と一体的に計画するなど周囲からの見え方に配慮する。							
	建築物に附帯する構造物や設備等は、建築物と一体的な意匠とするか、周囲から目立たない工夫を施し、建築物本体や周囲との調和を図る。							
	色彩は、マンセル表色系に示す範囲内とし、周辺景観との調和を図る。							
	建築物の低層階は、駅前広場に向かって開口部を大きくし、建築物内部の空間を望めるようにするなどにぎわいの創出に配慮する。							
	建築物の中高層階に用いる色彩に変化をつける場合は、低層階に用いる色彩よりも明度を高くし、通りに圧迫感を与えないように配慮する。							
	外壁は、長大な壁面を避けるなど、圧迫感の軽減を図る。							
公開空地 外構 緑化等	敷地内はできる限り緑化を図り、周辺の緑と連続させる。また、屋上緑化や壁面緑化を積極的に行う。							
	緑化に当たっては、樹種の選定に配慮し、周辺の景観との調和を図るとともに、植物の良好な生育が可能となるよう、植栽地盤を工夫する。							
	外構計画は、敷地内のデザインのみを捉えるのではなく、隣接する敷地や道路など、周辺の街並みと調和を図った色調や素材とする。							
	住宅地では建築物等を照らす過度な照明は控える。一方、中心市街地をはじめ鉄道駅周辺や主要道路沿道では、周辺の環境に応じた夜間照明を行う。							
	隣接するオープンスペースとの連続性を確保し、オープンスペースは積極的に緑化に努める。							
	オープンスペースでは、中高木等の植栽に努める。							
	駐車場及び駐輪場を設ける場合は、植栽などによって遮蔽することで駅前広場から望めないよう配慮する。							
	国分寺崖線への日照や開放感のある視界を確保するよう配慮して、オープンスペースを確保し、隣接するオープンスペースと連続性を持たせる。							
	敷地内に湧水などの水辺がある場合は、これらを生かした空間を形成するとともに保全を図る。							
	敷地周辺に柵、塀や門を設置する場合には、生垣、竹垣や板塀などの自然素材などを用い、自然環境や街並みに配慮する。							
駐車場の周囲は、車の出入りや歩行者の安全性に配慮しつつ、積極的に緑化を行う。								

## A.配置

景観形成基準

[ 一 水道 駅 農 深 国 ]

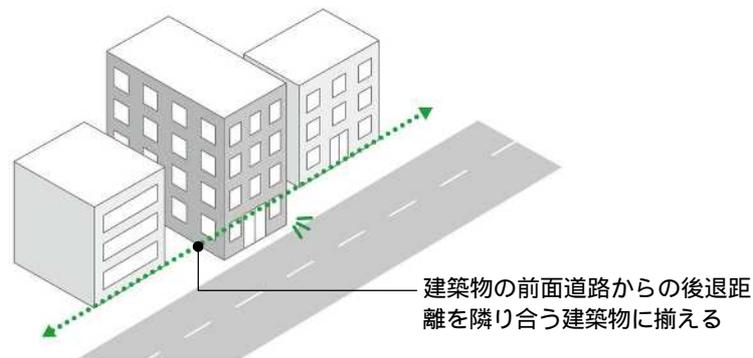
壁面の位置の連続性や適切な隣棟間隔の確保など、周辺の街並みとの調和に配慮した配置とする。

解説と取組例

一定の秩序に基づいて形成された街並みは、美しく、魅力的に感じるものです。

このため、建築物の前面道路からの後退距離を隣り合った建築物に揃えたり、門扉の設置を工夫したりして、街並みの連続性を創出するよう努めましょう。

また、隣接する建築物との間隔を可能な限り確保し、ゆとりの感じられる街並み景観を創出するよう努めましょう。特に背後に国分寺崖線の緑がある場合は、借景として活用しましょう。



景観形成基準

[ 一 水道 駅 農 深 国 ]

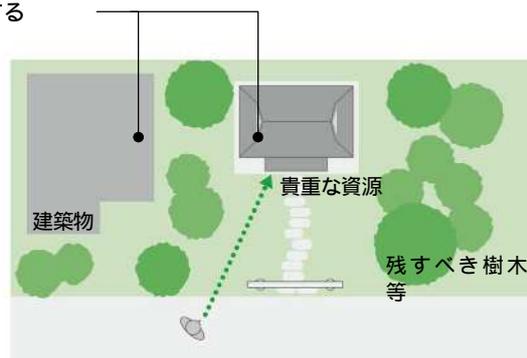
敷地内に歴史的な資源や樹木等の残すべき自然などがある場合には、これらを生かした配置とする。

解説と取組例

地域に残された歴史資源や豊かな自然資源などは、地域の景観を一層魅力的にし、景観だけでなく、地域に対して愛着や親しみを生み出してくれます。

このため、歴史資源や地域のシンボルとなっている巨樹、古木などの自然資源が敷地内にある場合は保全するとともに、それらの資源を地域の財産として、道路や公園などの公共空間から当該資源への視線を遮ることなく眺められるよう、建築物の配置を工夫しましょう。

地域に残る貴重な資源を道路などから見えるよう、配置を工夫する



建築物に附帯する屋外の階段や設備等は、道路等の公共空間から見えにくい位置に配置するように努める。

解説と取組例

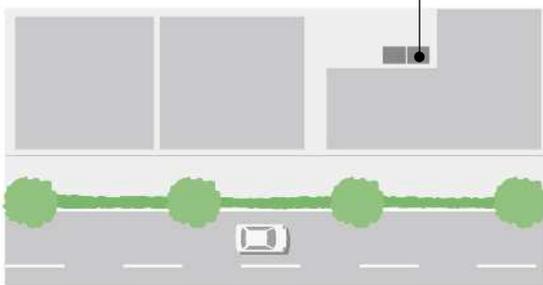
建築物に附帯する屋外の階段や利便性が優先される車庫、機能が優先される建築設備などが、通りから目立つ場所に設けられることで、街並みの連続性や一体感ある雰囲気をも断ち切ってしまう恐れがあります。

このため、建築設備などは、道路などの公共空間から見えにくい位置に配置するよう努めましょう。

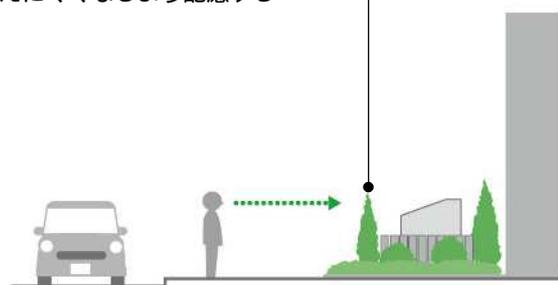
景観形成推進地区では

[駅] 駅前広場からの視線に配慮し、ゴミ置場などは、建築物の裏側などに配置したり、囲いを設けて直接道路や公園などの公共空間から見えにくくなるように努めましょう。

建築物の裏側に置いて、通りから見えにくくする



ゴミ置き場の周囲に囲いや植栽を設けて、道路などから直接見えにくくなるよう配慮する

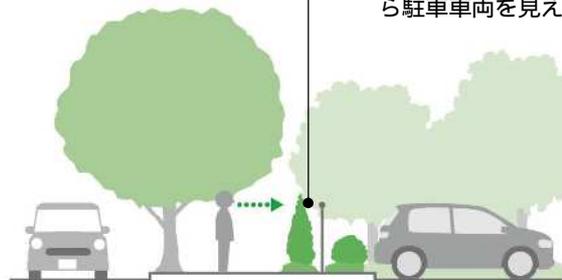


景観形成重点地区では

[深] 建築物に附属する施設や設備などは、道路や公園などの公共空間から見える位置に設けず、建築物の背後等の見えにくい位置に設けるよう努めましょう。

なお、困難な場合は、植栽やルーバーなどで見えにくくしたり、建築物の外壁と同じ色彩を用いて塗装するなどして、目立たなくなるように努めましょう。

駐車場は植栽やフェンスなどで、道路などから駐車車両を見えにくくする



道路等の公共空間側にオープンスペースを設ける。

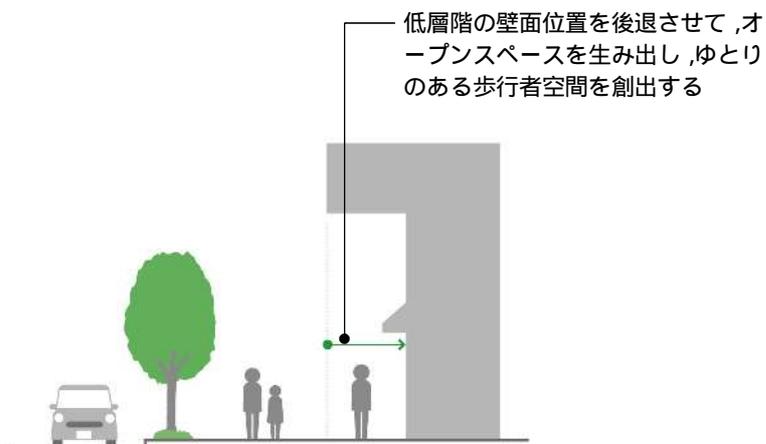
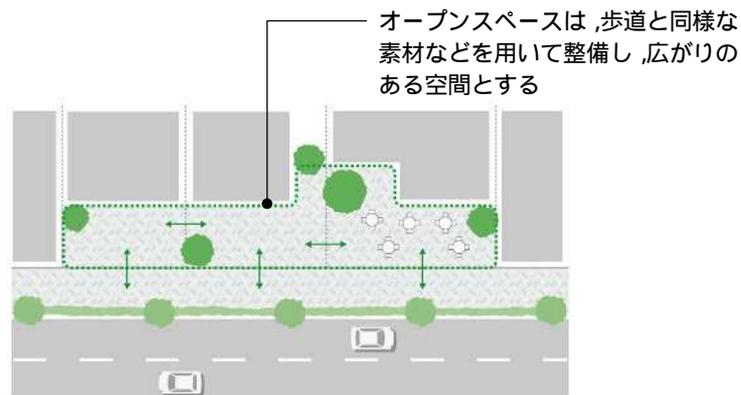
解説と取組例

歩行者空間などの公共空間側にゆとりがあると街並みの景観が豊かになります。

このため、建築物を前面道路から可能な限り後退させて空間を生み出し、市民に開放することで、ゆとりが感じられるオープンスペースを設けるよう努めましょう。

景観形成推進地区では

- [道] 公共空間側に設けられたオープンスペースは、歩道などと相まって通りの表情を一層豊かにしてくれます。生み出されたオープンスペースでは、縁石などの公共空間(歩行者空間)との物的な境界を無くしたり、景観に配慮された舗装材で統一させて視覚的な広がり演出するように努めましょう。
- [駅] 駅前広場は、市内外の大勢の人が集い、憩う場所であり、市の「顔」ともなる景観上重要な場所であるといえます。土地の高度利用などにより建築物全体を後退できない場合は、低層階(1, 2階)のみを後退させるなど、オープンスペースと公共空間が一体となり、快適な歩行者空間を生み出すよう配慮しましょう。

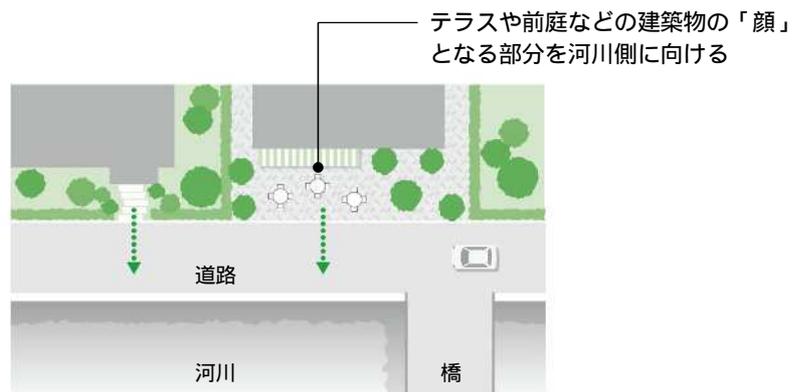


河川側に建築物の顔を向けるなど河川に配慮した配置とする。

解説と取組例

河川は自然を代表する景観資源であり、橋上や対岸、河川沿いの道路などから多くの人の目に触れる資源です。多摩川や野川の流りに表情を加えることは、河川景観に変化と彩りを加え、魅力的な空間をつくる効果があります。

このため、河川沿いに建築物を建てる場合は、河川側に玄関や窓などの大きな開口部、またテラスや前庭などの建築物の「顔」となり得る部分が向くように配慮しましょう。

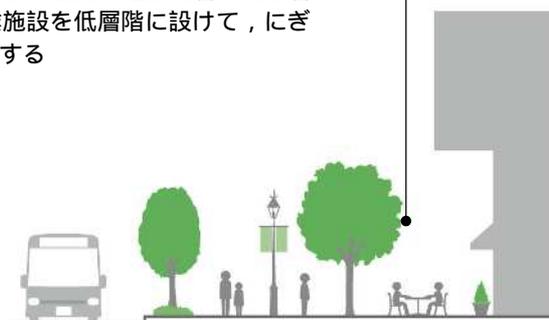


商業施設を低層階に設ける場合は、前面にオープンテラス等を設けられる配置となるよう配慮する。

解説と取組例

市の玄関口となる駅周辺の商業地では、にぎわいや活気を演出する仕掛けを設けることも必要です。このため、積極的に飲食店や物販店などの商業施設を低層階に設け、これらが道路や公園などの公共空間に面する場所ではオープンテラスなどを設けるよう配置に配慮しましょう。

オープンテラスを持った飲食店や物販店などの商業施設を低層階に設けて、にぎわいを演出する

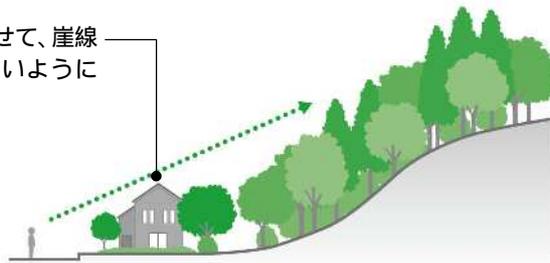


国分寺崖線の緑の景観が連続するような配置とする。

解説と取組例

市の緑豊かな景観の中で、国分寺崖線への眺望は、市街地の背景を形成している貴重な景観です。このため、建築物の位置を前面道路から後退させたり、建築物の周囲にある既存樹木とのバランスを考慮したりして、背景となっている国分寺崖線の崖線を遮らないように努めましょう。特に、谷筋に沿った場所で建築する際は、建築物と崖線の高さに配慮しましょう。

建築物の位置を後退させて、崖線の緑への眺望を遮らないように配慮する



深大寺通り、寺前通り、参道の沿道にはオープンスペースを配置するなど、ゆとりの演出を図るとともに、隣接する建築物の壁面の位置などに配慮する。

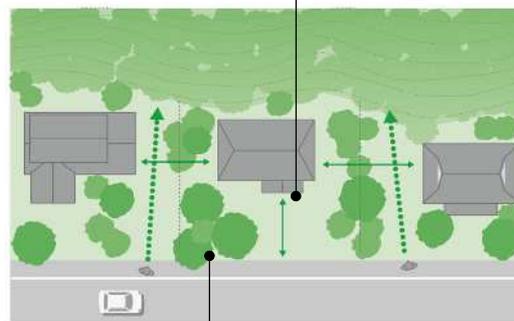
解説と取組例

深大寺周辺は、その歴史的な趣を求めて訪れる観光客も多数往来する地区です。こうした地区における主要道路沿道では、観光客を迎えるための設えとして、ゆとりある空間の演出も大切です。

このため、隣接する建築物や街並みとしての連続性に考慮して、壁面線が揃うよう配慮しながらも、可能な限り後退して、ゆとりのある空間を建物前面に確保するよう努めましょう。

また、後退して生み出した空間には、緑や花、ベンチの設置などにより、もてなしの工夫を行い、街並みに潤いを創出しましょう。

通りや隣接する敷地から離れた位置に配置し、ゆとりある街並みにする



建築物の前は、植栽によりもてなしの工夫をする

## B.高さ・規模

景観形成基準

[ 一 水 道 駅 農 深 国 ]

周辺からの見え方に配慮し、周囲の建築物との調和を図る。

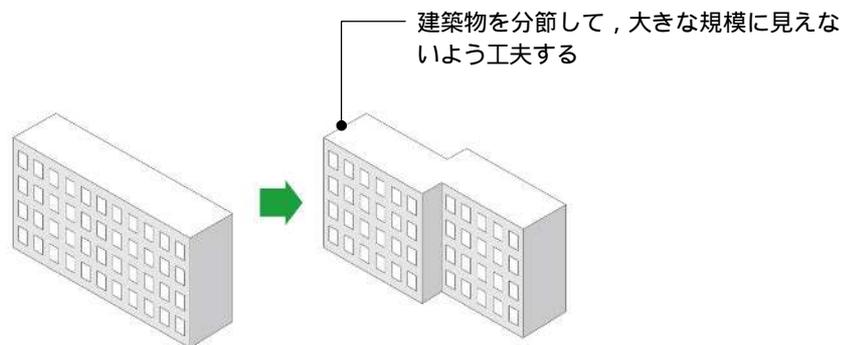
解説と取組例

住宅地や商業地のどこであっても、一定の秩序に基づいて形成された街並みは、美しく、魅力的に感じるものです。

このため、周辺の道路や公園などの公共空間から眺めた際、周囲に立つ既存の建築物に対して過度に突出したものにならないよう、高さを低く抑えたり、1棟が2棟に見えるよう形状を分節して規模を揃えたりするなど、工夫に努めましょう。

景観形成推進地区では

- [水] 河川や堤防沿いの樹木などに見られる自然景観と調和するよう、河川堤防、橋や水上などからの見え方をシミュレーションし、河川の幅員や周囲の樹木の高さなどに調和した高さや規模にするなど、工夫に努めましょう。
- [道] 通りとしての連続性や一体感が感じられるよう、隣り合った建築物の高さ、また建築物群が形成する街並み全体のスカイラインに揃えるなど、工夫に努めましょう。
- [駅] 市の「顔」または地域の「玄関口」に相応しい、にぎわいの中にも一定の秩序が感じられる景観となるよう、駅や駅前広場からの見え方をシミュレーションし、一定の規模を確保しつつ、周囲の建築物により形成されるスカイラインに揃えるなど、工夫に努めましょう。
- [農] 農地の広がりを感じられる景観を阻害しないよう、また、周囲の樹木等の自然景観との調和を図るよう、建築物の高さを低く抑えたり、全体規模があまり大きく見えないよう分節したりするなど、工夫に努めましょう。



景観形成重点地区では

- [深・国] 国分寺崖線の緑は、市街地に残された貴重な自然資源であるとともに、周辺の道路や公園からの眺めが楽しめ、まちなかに潤いと安らぎを与えてくれる景観資源です。このような景観との一体性や調和を図るため、周辺の主要な眺望点からの見え方をシミュレーションし、建築物の高さや規模を工夫しましょう。

建築物の上層階を分節することで、背景の崖線への眺望を確保する



高さは、崖線の緑や周辺建築物群のスカイラインとの調和を図り、著しく突出した高さの建築物は避ける。特に崖線の樹木に隣接する敷地では崖線の低地部から見たときに、崖線の台地部の樹木の最高高さを超えないよう工夫する。



解説と取組例

市の緑豊かな景観の中で、国分寺崖線への眺望は、市街地の背景を形成している貴重な景観です。このため、建築物は、背後に連なる崖線の緑を遮ることのない高さ、または周辺建築物群により形成されているスカイラインを乱すことのない高さになるよう努めましょう。

また、崖線の樹木に隣接して建築する場合は、低地部から見上げた際に、周囲の樹木の最高高さを超えないよう高さを低く抑えたり、建築物上部の壁面線を後退させたりするなど努めましょう。



深大寺通り、寺前通り、参道からの見え方に配慮し、周辺樹林や街並みとの調和を図る。

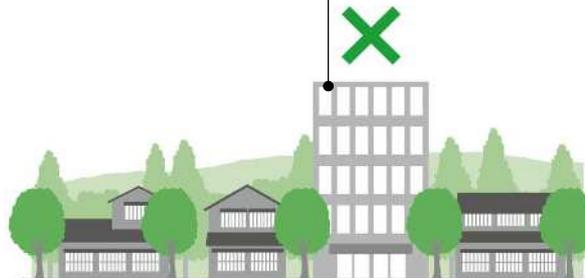


解説と取組例

深大寺周辺は、その歴史的な趣を求めて訪れる観光客も多数往来する地区です。こうした地区の主要道路から見た街並みは、地域の印象を決定付ける重要な景観であるといえます。

このため、地区内の主要道路である深大寺通り、寺前通り、参道から見た際に、周辺の樹林や建築物と比べて突出した高さとなせず、街並みとしてのまとまりが感じられる景観を形成するよう努めましょう。

周辺の樹林や建築物の高さに配慮して、まとまりの感じられる景観を形成する



## C.形態・意匠・色彩

景観形成基準

[ 一 水 道 駅 農 深 国 ]

形態・意匠は建築物全体のバランスだけでなく、周辺の建築物等との調和を図る。

解説と取組例

景観は、一つの建築物だけで成り立っているものではなく、周囲の様々な資源などとともに形成されているものです。

このため、建築物の形態・意匠は、建築物単体だけを捉えて決めるのではなく、建築物が立地する周囲の自然や歴史、また街並みの雰囲気などに着目し、屋根形状などの建築様式をはじめ、屋根や壁面の素材や色彩などが周囲の景観に調和するよう努めましょう。

また、規模が大きな建築物は、周囲に圧迫感を与えるため、建築物を分節したり、外壁の色彩、素材、意匠などにより陰影を設けたりして、視覚的に小さく見えるようにするなど、国分寺崖線の景観との一体性を図るよう努めましょう。



景観形成基準

[ 一 水 道 駅 農 深 国 ]

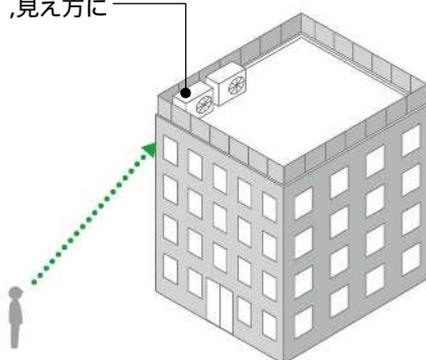
屋根や屋上に設備等を設ける場合は、建築物と一体的に計画するなど周囲からの見え方に配慮する。

解説と取組例

美しく整えられた建築物であっても、機能重視の建築設備などが通りから目立つ場所に取り付けられることで、建築物全体の魅力を損ねてしまう場合があります。

このため、屋上設備の意匠や色彩を設置する建築物に合わせたり、屋上設備を柵で囲うなどして道路などの公共空間から容易に見えないようにしたりするなど、目立ちにくくなるよう努めましょう。

設備を柵で隠すなどして、見え方に配慮する



建築物に附帯する構造物や設備等は、建築物と一体的な意匠とするか、周囲から目立たない工夫を施し、建築物本体や周囲との調和を図る。

解説と取組例

機能重視の構造物や建築設備などが目立つと、建築物全体の魅力を損ねてしまう場合があります。このため、建築設備などは、建築物と一体的な意匠とするため同じ色彩や素材を用いたり、周囲から目立たなくなる工夫として囲いや緑化により修景したりするなど、建築物本体や周囲の景観との調和を図るよう努めましょう。



色彩は、マンセル表色系に示す範囲内とし、周辺景観との調和を図る。

マンセル表色系の範囲は、P 25, 26 を参照。

解説と取組例

建築物などは規模が大きく、長く同じ場所にあり続けるものであるため、屋根や外壁などに用いられる色彩は、周囲の景観に大きな影響を与えます。

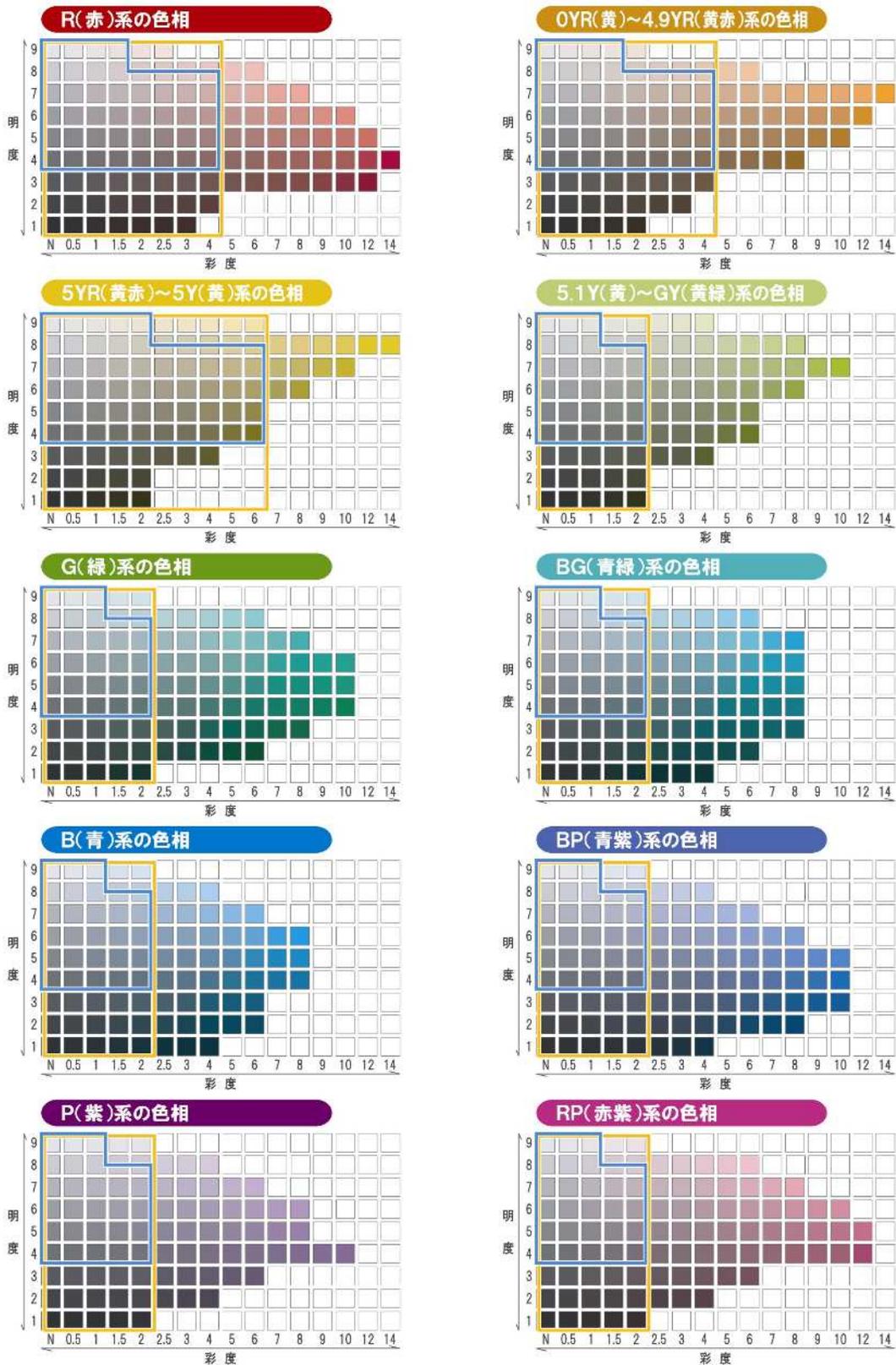
このため、建築物の新築などを行おうとする際は、屋根や外壁に用いる色彩を、マンセル表色系に示す範囲内の色彩で、かつ周囲の自然や歴史、街並みなどに見られる色彩に馴染むよう努めましょう。具体的には、周囲の建築物に色相を揃えたり、低彩度にしたりして、控えめな色彩にしましょう。



建築物の外壁に彩度を抑えた色彩を用いて、周囲の樹木と馴染んでいます。



外壁の色彩を同じ色相で統一されることで、一体感のある街並みとなっています。

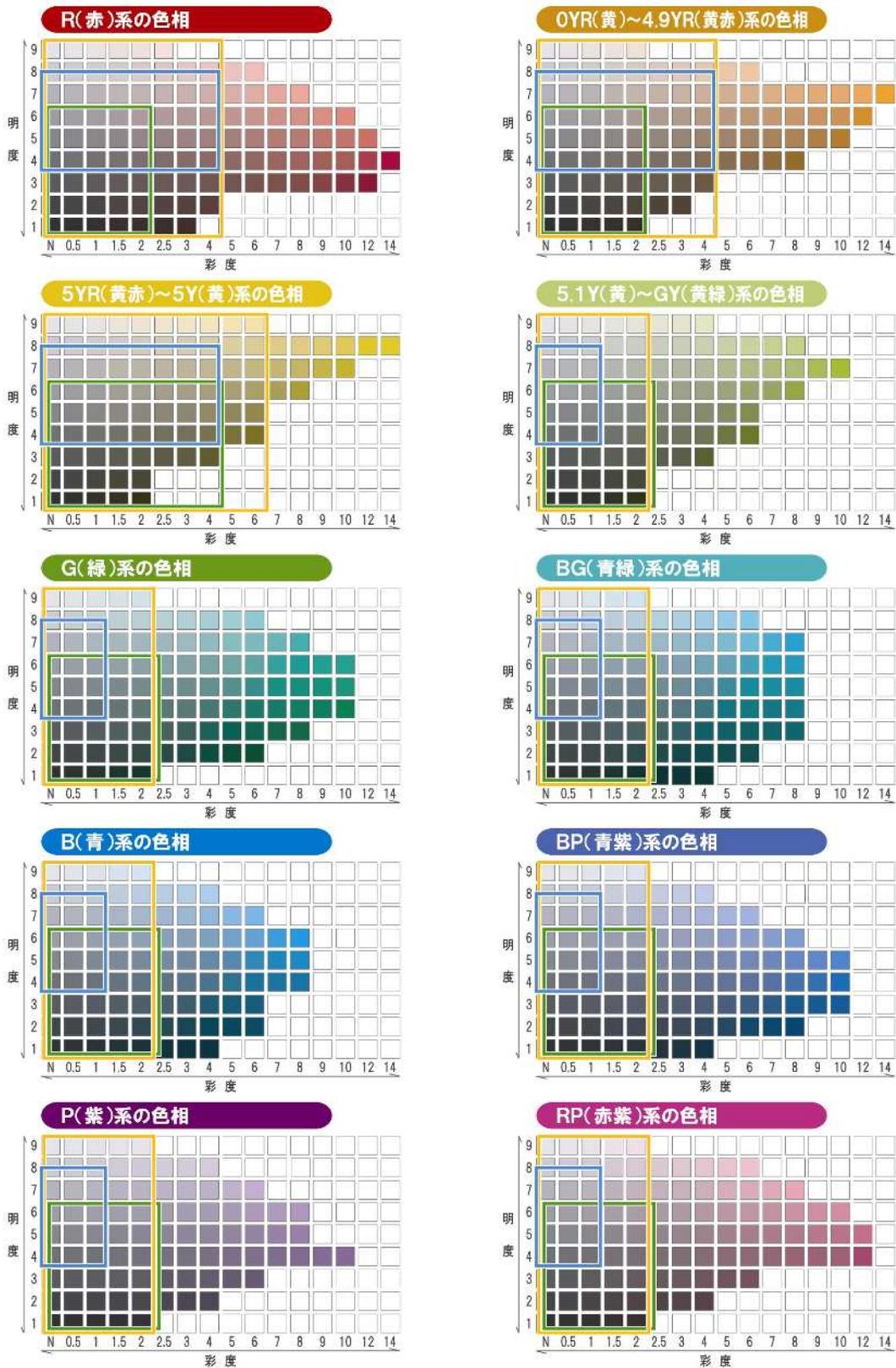


外壁基本色(外壁の4/5)

外壁強調色(外壁の1/5)

できる限り正確な色再現を心がけましたが、実際のマンセル値と図版の色彩が異なる場合があります。

図 一般地域における色彩基準による使用可能色の範囲



できるだけ正確な色再現を心がけましたが、実際のマンセル値と図版の色彩が異なる場合があります。

図 景観形成重点地区における色彩基準による使用可能色の範囲

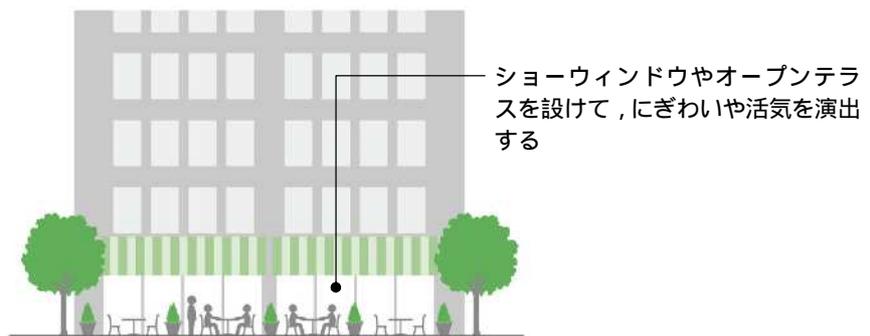
建築物の低層階は、駅前広場に向かって開口部を大きくし、建築物内部の空間を望めるようにするなどにぎわいの創出に配慮する。



解説と取組例

駅前広場やその周辺は、市の玄関口であるとともに、市を代表する「顔」となる、景観形成上重要な地区の一つです。

このため、駅前広場に面する建築物などは、低層階はにぎわいや活気を演出する空間として、店舗内の様子を伺うことができるよう出入口や窓などの開口部を大きくしたり、ショーウィンドウやオープンテラスを設けたりするなど配慮しましょう。



建築物の中高層階に用いる色彩に変化をつける場合は、低層階に用いる色彩よりも明度を高くし、通りに圧迫感を与えないように配慮する。

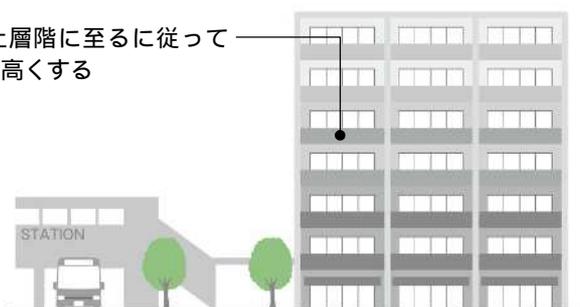


解説と取組例

駅前広場やその周辺では、土地の高度利用による建築物の高層化に伴って、歩行者に圧迫感や威圧感を与える恐れが生じます。

このため、駅前広場に面して中高層階の建築物を建築する場合は、外壁の色彩において、上層階に至るに従って明度を高くして建築物が空に溶け込むよう見せるなど、景観面から圧迫感や威圧感を軽減する工夫に努めましょう。

下層階から上層階に至るに従って  
外壁の明度を高くする



外壁は、長大な壁面を避けるなど、圧迫感の軽減を図る。

解説と取組例

建築物の長大な外壁は、歩行者に圧迫感や威圧感を与える恐れが生じます。

このため、外壁が長大となる場合は、色彩や素材により分節したり、凹凸により陰影を設けたりして、視覚的に圧迫感を軽減するよう努めましょう。



## D.公開空地・外構・緑化等

景観形成基準

[ 一 水道 駅 農 深 国 ]

敷地内はできる限り緑化を図り、周辺の緑と連続させる。また、屋上緑化や壁面緑化を積極的に行う。

解説と取組例

緑豊かな景観は、人々にゆとりや安らぎを与え、心を豊かにしてくれます。

このため、敷地外縁は、生垣を設けたり、様々な高さの樹木や色どりを添える草花を植栽したりして緑化を図り、周囲の緑との連続性を創出するよう努めましょう。

また、建築物の屋上やベランダ、壁面などを、樹木や草花、ツタ植物などを用いて緑化し、周囲の公園や農地、隣接する建築物の外構の緑などつながりのある景観を形成するよう努めましょう。



景観形成基準

[ 一 水道 駅 農 深 国 ]

緑化に当たっては、樹種の選定に配慮し、周辺の景観との調和を図るとともに、植物の良好な生育が可能となるよう、植栽地盤を工夫する。

解説と取組例

市内に多数見られる緑豊かな木々は、住宅地景観や商業地景観などの、市の様々な景観の背景をなす貴重な景観資源となっています。

このため、敷地内の緑化にあたっては、周囲に見られる郷土樹種とその植生などを把握し、環境に適した樹木を植栽するよう努めましょう。

なお、選定した樹種や樹木の高さなどに応じて土層の工夫など植栽地盤に努めましょう。



外構計画は、敷地内のデザインのみを捉えるのではなく、隣接する敷地や道路など、周辺の街並みと調和を図った色調や素材とする。

解説と取組例

景観は、建築物だけで成り立っているものではなく、隣接する敷地や建築物周りの外構、道路などの公共空間などの様々な資源とともに形成されているものです。

このため、建築物周りの外構を整備する際は、隣接する敷地や周囲の街並み景観の状況を把握し、外構の形態・意匠が調和するよう努めましょう。具体的には、外構整備に用いる素材や色彩、形態・意匠、また植栽する樹木などが、周囲の景観になじむよう努めましょう。



住宅地では建築物等を照らす過度な照明は控える。一方、中心市街地をはじめ鉄道駅周辺や主要道路沿道では、周囲の環境に応じた夜間照明を行う。

解説と取組例

照明は、夜間景観の演出を行う上での効果的な方法です。しかし、住宅地などでの過度な照明は、安らぎを求める生活を脅かす場合があります。

このため、生活に近い場所では、極度に高い輝度の照明は用いず、門灯や玄関周りなどで柔らかい照明を用いるよう努めましょう。

一方、鉄道駅周辺や主要道路沿道などのにぎわいの創出が必要な場所では、必要に応じて建築物のシルエットが浮かび上がる間接照明や入口周りを演出するような照明を用いるよう配慮しましょう。

住宅地では、門灯や玄関灯により柔らかい明かりを用いて、夜間景観を演出する



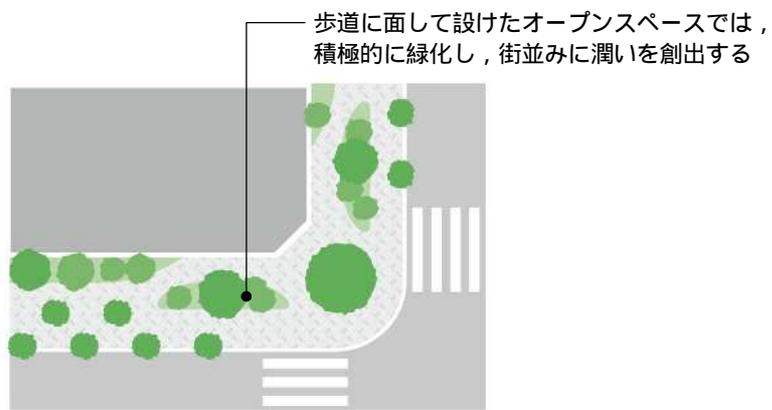
隣接するオープンスペースとの連続性を確保し、オープンスペースは積極的に緑化に努める。

解説と取組例

道路に面する空地に四季の彩りが感じられる緑などがあると、街並みの景観が豊かになります。  
 このため、後退して生み出した空間には、四季の移り変わりを感じさせる樹木や、色とりどりの花を付ける草花などを植栽し、街並みに変化と潤いを創出するよう努めましょう。

景観形成推進地区では

[駅] 市の玄関口である駅前周辺では、シンボルツリーとなる中高木を植栽し、街並みの景観にアクセントと潤いを創出するよう配慮しましょう。

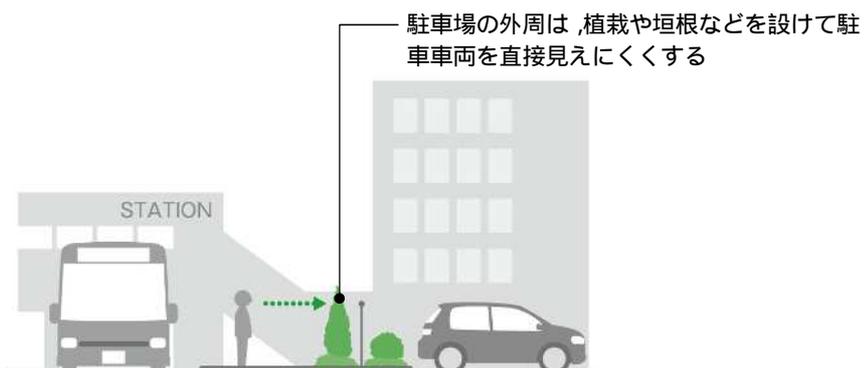


駐車場及び駐輪場を設ける場合は、植栽などによって遮蔽することで駅前広場から望めないよう配慮する。

解説と取組例

にぎわいの感じられる景観を形成していく駅周辺の商業地では、無機質となりがちな駐車場や駐輪場を目立つ場所に設けることが、街並み景観の魅力を損なう恐れがあります。

このため、駐車場や駐輪場の道路や公園などの公共空間に面する側は、中低木により植栽を施したり、垣根や柵などを設けたりして、当該公共空間から駐車車両などが直接見えにくくなるようにしましょう。ただし、安全面から極度に透過性の悪い柵などを用いることは控えましょう。



国分寺崖線への日照や開放感のある視界を確保するよう配慮して、オープンスペースを確保し、隣接するオープンスペースと連続性を持たせる。



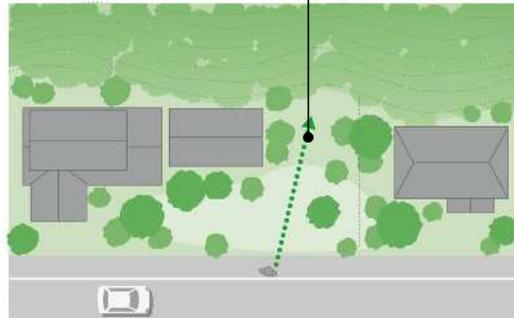
解説と取組例

視界に広がる緑豊かな木々の景観は、国分寺崖線を代表する魅力の一つです。

このため、可能な限り建築物の周りにはオープンスペースを設けるなどして、国分寺崖線への眺望や開放感などを維持あるいは新たに創出するよう努めましょう。

また、オープンスペースを設ける際、既に隣り合う敷地にオープンスペースがある場合は、その位置などに留意して、連続するよう努めましょう。

建築物のまわりにはオープンスペースを設けて、崖線への眺望を確保する



敷地内に湧水などの水辺がある場合は、これらを生かした空間を形成するとともに保全を図る。



解説と取組例

湧水などの水辺は、国分寺崖線の特徴的な地形によって形成される貴重な自然資源です。

このため、湧水などの水辺空間は、国分寺崖線の貴重な自然資源として保全しましょう。

また、これらの湧水は、道路などの公共空間から見える場所で、これらを生かした手水舎や水路として整備するなどして、街並み景観の演出を行うよう努めましょう。

湧水などがある場合は、手水舎を設けるなどして、街並み景観の演出を行う



敷地周辺に柵、塀や門を設置する場合には、生垣、竹垣や板塀などの自然素材などを用い、自然環境や街並みに配慮する。

解説と取組例

深大寺周辺は、緑豊かな自然景観や歴史的な趣の感じられる建築物が多数見られます。

このため、外構を整備する際は、自然や歴史的な雰囲気を持った深大寺とその周辺の街並み景観に配慮して、生垣、竹垣、板塀などの自然素材を用いるよう努めましょう。

また、生垣などを設ける際は、極度に視界を遮り、閉鎖的あるいは圧迫感のある雰囲気とならないよう努めましょう。



駐車場の周囲は、車の出入りや歩行者の安全性に配慮しつつ、積極的に緑化を行う。

解説と取組例

自然や歴史的な資源が豊かな地域で、駐車場等は趣を阻害する要素となる場合があります。

このため、駐車場は道路などの公共空間から見える位置に設置しないよう努めましょう。やむを得ず設置する場合は、木製の塀・柵の設置や植栽などにより、直接見えにくくなるよう努めましょう。

なお、駐車場の出入り口付近では、歩行者に対する安全性に配慮しましょう。

駐車場を設ける場合は、木製の柵などで駐車車両を見えにくくする

